

令和6年度 小城市立晴田小学校 グランドデザイン

児童数	302名	学級数	12学級（通常）10学級（特支）	教職員数	37名
-----	------	-----	------------------	------	-----

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 佐賀県教育基本方針
- 小城市学校教育の基本方針
- 新学習指導要領
- 令和の日本型教育

【 学校教育目標 】
心晴れ晴れたくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成
—つながりあおう！ 地域に根ざそう！—

- 地域密着型の学校づくり
- ・地域と連携した学校教育活動
 - ・地域行事への参加奨励
 - ・地域の一員としての意識
 - ・幼保小中連携

晴田っ子の合言葉「自分の命・心はひとつ、友達の命・心もひとつ」
「聴くは思いやり、言葉はおくりもの」

【行動化の指針】 ～まずは、あいさつから～ ～今、私にできること～ ～気づき、考え、行動する～

【めざす学校像】

- あいさつの言葉が響く、笑顔あふれる学校
- 安全・安心な学校
- 子どもたちが生き生きと学び伸びていく学校
- 美しい学校
- 地域とともに歩む学校

【めざす子ども像】

- いのちあるものを大切にし、思いやりのある子ども
- 健康や安全に気をつけ、元気に活動できる子ども
- 進んで学び、基礎基本や活用力を身につけた子ども
- ふるさと晴田で生き生きと活動する子ども

【めざす教師像】

- 『ONE TEAM』～職員もひとつ！～合言葉に、常に組織で協働する教職員
- 人権感覚を身につけ、自他を大切にする教職員
- 自ら研鑽し指導力・職務能力向上に励む教職員
- Work Life Balanceを意識した働き方ができる教職員

【 学校教育の重点目標 】

自他とつながり合い自分や友達を大切に行動できる児童を育成するために、「自己有用感」を育む
【全体指標】 自分には、よいところがあると思う …80%以上

- I 児童の「自己有用感」の向上を軸にした教育活動を展開しよう！**
- 人権教育、特別支援教育、心の教育、教育相談等では、常に「自己有用感」または「自尊感情」の向上を意識しながら取組を展開する。
 - 授業・特別活動（係・委員会、学校・学年行事）では、「出番」「役割」があり「承認」される取組を創造し、児童の「自己有用感」を高めていく。
 - 校内研究では、学習内容理解と人間関係の高まりを同時に図る「多様なインプット・アウトプット場面を仕組んだ授業」の在り方を模索し、本校独自の指導方法を確立する。
- II 「人権教育」は、本校教育の基盤であり続ける！**
- 長年の「人権教育」への取組、人権尊重を基盤とした取り組みの積み重ねを継承し発展させる。
 - 合言葉「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」は、本校の宝である。
- III 地域の教育力を生かす！地域の一員であるとの意識を育てる！**
- 育友会、青少健、区長会、幼稚園等地域の教育力を、学校の教育活動に明確に位置づけ生かす。
 - 「地域の一員である」との児童の意識を育てることで、地域との双方向の関係作りを図る。
- IV 「ONE TEAM」 ～職員もひとつ～ 職員みんなが伸びる！**
- 特別支援学級を含めた学年チーム制で、学年内、管理職との密な「報告・連絡・相談」により、一体感のある職員体制を構築する。
 - 向上心やノウハウの若手職員へのアウトプットを心がけることで、相互に伸びる職員をめざす。

4つの部と特別支援教育部による教育活動推進				
生徒指導部（6）	保体部（5）	特別活動部（5）	学習部（5）	特別支援教育部（4）
教育目標達成のための重点取り組み				